

推進方向 9

望ましい教育環境の充実・整備

教育の情報化に対応した I C T 環境の整備や、「周南市学校施設等長寿命化計画」に基づく施設の改修、小学校普通教室への空調設備の整備、トイレの洋式化等を進めることで、安心・安全で快適な学習環境の充実を図ります。

また、望ましい教育環境を確保するための適正な学校の再編整備等に取り組みます。

これまでの取組と課題

安心・安全で快適な教育環境の充実のため、施設の耐震化や老朽化対策、空調設備の整備やトイレの洋式化等、施設の計画的な改善を進めるとともに、教育の情報化に対応するため、タブレット型情報端末や大型ディスプレイ等の導入、校内無線 L A N 環境の整備などにより、児童生徒の学習意欲や学習の質の向上を図ってきました。

今後は、施設の老朽化の進行に対する予防保全型管理への転換による長寿命化の促進や、大型ディスプレイ等 I C T 機器のさらなる充実、プログラミング教育導入に伴う学習環境の整備等を確実に進めていくとともに、適正な学校の再編整備等に取り組み、望ましい教育環境の充実・整備を図る必要があります。

◇ 対象施策 ◇

児童が健康で快適に学習できる環境を整えるため、小学校の普通教室への空調設備の整備を進めます。

◆ 重点事業 ◆

◎ 小学校空調設備の整備

中学校全普通教室への空調設備設置に引き続き、児童が学習に集中できる環境を整えるため、既に設置済みの鼓南小学校、八代小学校を除く 2 5 小学校の全ての普通教室に一括して空調設備を整備します。

◇ 対象施策 ◇

児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支援するため、ICT教育環境の充実を図ります。

◆ 重点事業 ◆

◎ 学校ICT教育環境の充実

国が提唱するPC端末の整備と大容量通信ネットワークを一体的に整備する「GIGAスクール構想」の実現に向け、より充実した学習環境の中、全ての教室で全ての児童生徒がICT機器を利用できるよう、大型ディスプレイや校内通信ネットワークの増設、情報端末のさらなる整備等を行います。

◎ 授業公開や研修会の充実

情報活用能力やプログラミング的思考を育む授業づくりの研究をさらに充実するとともに、積極的に授業公開や専門家を招聘した研修会を開催するなど、教職員の資質向上を図ります。(再掲)

◇ 対象施策 ◇

教育効果を十分に発揮するため、教材備品の充実を図るとともに、安心・安全で快適な学校施設の整備に努めます。

◆ 重点事業 ◆

◎ 学校施設の整備

21世紀にふさわしい教育環境づくりの一環として、施設の適正管理に努めるとともに、「周南市学校施設等長寿命化計画」に基づき、施設の改善に努めます。また、快適な教育環境の充実に向け、トイレの洋式化を計画的に進めます。

◇ 対象施策 ◇

児童生徒の安心・安全な通学路を確保するため、通学路における総合的な安全対策を進めます。

◆ 重点事業 ◆

◎ 通学路の安全確保

交通安全に加え、防犯や防災の観点からも通学路の危険個所の調査・点検を行い改善を図る「周南市通学路総合安全プログラム」に則って、学校と地域、関係機関と連携した安全対策の向上を図ります。

◇ 対象施策 ◇

児童生徒の望ましい教育環境を実現するため、保護者、地域の理解を得ながら学校の適正な再編整備を進めます。

◆ 重点事業 ◆

◎ 学校適正配置の推進

各校の実情や特性に応じて児童生徒への十分な教育効果が期待できるよう、保護者や地域住民との意見交換を通して十分な理解を得ながら、学校の適正配置を進めます。

安心して統合先の学校へ通学できるよう、対象校と統合先の学校との交流学习を計画的に実施するなど、保護者や児童生徒の不安解消に努めます。また、統合にあたっては、適切な通学手段を確保し、負担軽減を図ります。

休校となっている学校施設については、地域住民の意向を踏まえた利活用に取り組みます。

◇ 対象施策 ◇

学校教育制度の多様化に対応するため、小中一貫教育校の取組を進めます。

◆ 重点事業 ◆

◎ 小中連携教育の推進

小中学校9年間でのつながりのある「学び」と「育ち」を充実するため、全中学校区において教職員の交流を図り、小中連携教育の一層の推進に努めます。

◎ 小中一貫校の取組の推進

これまで取り組んできた「小中一貫教育」についての調査・研究を踏まえ、今後は施設設備等ハード面の課題も勘案しつつ対象校を検討し、保護者や地域との合意形成を図りながら、小中一貫教育校の取組を進めます。

◇ 対象施策 ◇

家庭の経済的事情にかかわらず、すべての子どもたちが安心して学べるよう、就学等に必要な支援を行います。

◆ 重点事業 ◆

◎ 経済的就学等困難者への支援

学用品費や給食費、行事への参加費などの負担が困難な保護者に対して、その費用の一部または全部を給付することで子どもたちの就学等を支援します。

◎ 高等学校・大学等進学者への支援

向学心のある生徒・学生が、経済的な理由により進学を断念することがないように、奨学金貸付等により修学を支援します。

☆ 成果指標・目標 ☆

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	備考
小中学校のトイレの洋式化率	35.6%	50%	教育政策課調べ
小中学校のすべての普通教室への大型ディスプレイ等導入率	41.2%	100%	学校教育課調べ